

いきいき通信

編集／大船渡市企画政策部男女共同参画室

(〒022-8501 岩手県大船渡市盛町字宇津野沢15 / ☎0192⑦3111(内線214) / ㊟0192⑥4477)

「子ども食堂」を開催しました 「おおふなと男女共同参画」うみねこの会「活動報告」

子ども食堂の取り組み

おおふなと男女共同参画うみねこの会では、子どもの食育と、地域住民との世代間交流を目的として、会員を中心に昨年11月に「子ども食堂実行委員会」を設立しました。

実行委員会では、「子ども居場所ネットワークいわて」より運営方法の指導を受けたり、ボランティアの協力を得ながら、12月22日に働く婦人の家で、子ども食堂プレイベント「第1回うみねこキッズ食堂」を開催することができました。

当日は、実行委員のほか、高校生や地域ボランティアなどスタッフとして32人が集まり、市民や企業から提供いただいた食材で、チキンカレーや大根サラダ、イカフライ、ヤーコンの酢の物などを作り、48人の参加者に提供しました。



第1回はみんなでカレーなどを作って食べました

また、レクリエーションとして、ボランティアによるマジックショーの披露や、高校生とのバトミントン遊びなどを行いました。参加者からは、「たくさんの方が協力していることに感動した。料理上手なお母さんたちによるカレーライスもおおいしかった。さまざまなレクリエーションがあり、ボランティアにも感謝したい」などの感想をいただきました。

実行委員会では、2月2日に「第2回うみねこキッズ食堂」を開催し、今後も開催を予定しています。



第2回はバルーンアートのボランティアをいただきました

山下会長に今後の活動について話を伺いました

たくさんの人から食材を提供いただいたおかげで、子どもたちにおなかいっぱい食べさせることができました。第2回うみねこキッズ食堂では、市外の人からも食材を提供いただくなど、想像以上の反響で手ごたえを感じています。今後も、市広報紙や新聞などで周知を図り、大人も子どもも気軽に参加し、交流ができれば子ども食堂を目指していきたいです。



子ども用エプロンなどの貸し出しをぜひ利用ください

子ども食堂を地域で開催してみませんか

実行委員会では、お住まいの地域で子ども食堂を開催する人へのサポートを行います。

実行委員が開催の段取りなどを手伝いますので、地域公民館などを会場に、子ども食堂を開催してみませんか？詳しくは、問い合わせください。

また、(株)岩手日報社ほか5社から寄贈いただいた、子ども用のエプロン・包丁・スリッパや、木の皿、コップの貸し出しも行っていきます。

▽問い合わせ先〓おおふなと男女共同参画うみねこの会 山下タエ子会長 (☎080-1838-1187)

令和元年度男女共同参画

サポーター養成講座を修了

岩手県と岩手県男女共同参画センターが主催する、令和元年度「男女共同参画サポーター養成講座」が、昨年6月から11月までの期間に、6回にわたり14講座の日程で盛岡市などを会場に開催されました。

本市からは、新沼瀬菜さんが受講し、岩手県知事より「男女共同参画サポーター」の認定を受けました。本号では、提出レポート「講座を受講し、自分に力がついたと思うこと」の一部を掲載します。

▽新沼瀬菜さんの感想

私は、男女共同参画担当職員としてこの講座に参加しました。

これまでの業務では、県主催の男女共同参画フェスティバルへの参加や、市広報紙いきいき通信の作成、料理教室などの自主事業を担当してきましたが、今回の講座は、自

分自身に反映できることを多く学ぶことができ、今後の業務に役立てることができると感じました。

講義で苦労したことは、数回にわたり行われたグループワークで、はじめは自分の意見をうまく伝えることができず、さまざまな意見を聞く中で、問題の答えは一つではないということが分かり、積極的に意見を出せるようになりました。

また、特に印象に残った話として、「今まで知らなかったことを知ることで、何気ない一言で傷付けてしまっていたことが、心掛けひとつで変えていくことができる」との話があります。

これは、LGBT当事者で、若者への支援を行っている講師の遠藤まめたさんが話したこと、今回学んだ中でも、特にこのことに気を付けていきたいと思いました。DV身近な問題としては、DV



仕事と育児・介護などの生活の両立には、共に支え合うことが必要です

や子育てと介護の問題などがあり、当事者が行政のサポートを積極的に受けるためにも、周りが声を上げやすい環境づくりをしていく必要があると感じました。専門的な知識がなくても、寄り添い、相談窓口と一緒に探すが、早期解決に繋がると思っています。今回受講して、男女共同参画を取り巻く現状や、現場の声などの新鮮な情報を得たことにより、男女共同参画に対して、より理解が深まりました。

これからは学んだ者のひとりとして、身近なところから共に支え合う社会づくりを目指していきたいと思えます。

印鑑登録証明書から性別に関する記載を削除

市では、これまで印鑑登録証明書には、登録印影のほか、氏名・住所・生年月日・性別を表記していましたが、令和元年11月5日から、性別に関する記載を削除しました。

これは、性別に関わりなく、全ての人があらゆる場面で活躍できる男女共同参画社会を推進するため、性同一性障害などの人への配慮を目的に行った取り組みです。

思いやりのある社会をつくり、自分らしく生きること理解するため、皆さんも性の多様性について考えてみませんか？

▷問い合わせ先 市民環境課市民登録係 (☎内線123)

家族でわいわい クッキング教室

9組19人が参加

2月8日、働く婦人の家で、「家族でわいわいクッキング教室～バレンタインデークッキング～」が開かれ、9組19人の家族が参加しました。

講師の菅野香澄さん(管理栄養士)から丁寧な指導を受けながら、ハート型押し寿司と豚汁、デコレーションカップケーキを、全員で協力しながら完成させました。

参加者からは、「家とは違って、友だちと共同作業で作ることができてよかった。家族で会話をしながら楽しく作れた」などの感想が寄せられました。

